

# 沖縄県内労働災害

## 「被災者アンケートに寄せられた声」（抜粋版）

この資料は、沖縄労働局にて令和3年度より実施している労働災害被災者アンケートに寄せられた声をご紹介します。

被災者アンケートは、実際に労働災害に被災された方々の経験を広く周知させていただくことにより、労働災害防止の必要性を労働者・事業者の双方にご認識いただくために実施しております。

今資料にて、実際に労働災害に被災された方々から寄せられた被災されて困ったことや、労働災害を防止するためのアドバイスをご紹介しますので、**社内での教育資料への利用など、労働災害防止に向けてご活用いただきますようよろしくお願いいたします。**

労働災害被災者アンケート（2023年12月11日）



転倒や腰痛、切ったり、挟まれたり、また、機械などの激突など職場において様々な労働災害が発生しております。

労働者、事業者のみならず、皆様に関係する全ての方々も含め、一日の仕事を終えて怪我無くお帰りになることを願っていることと思います。

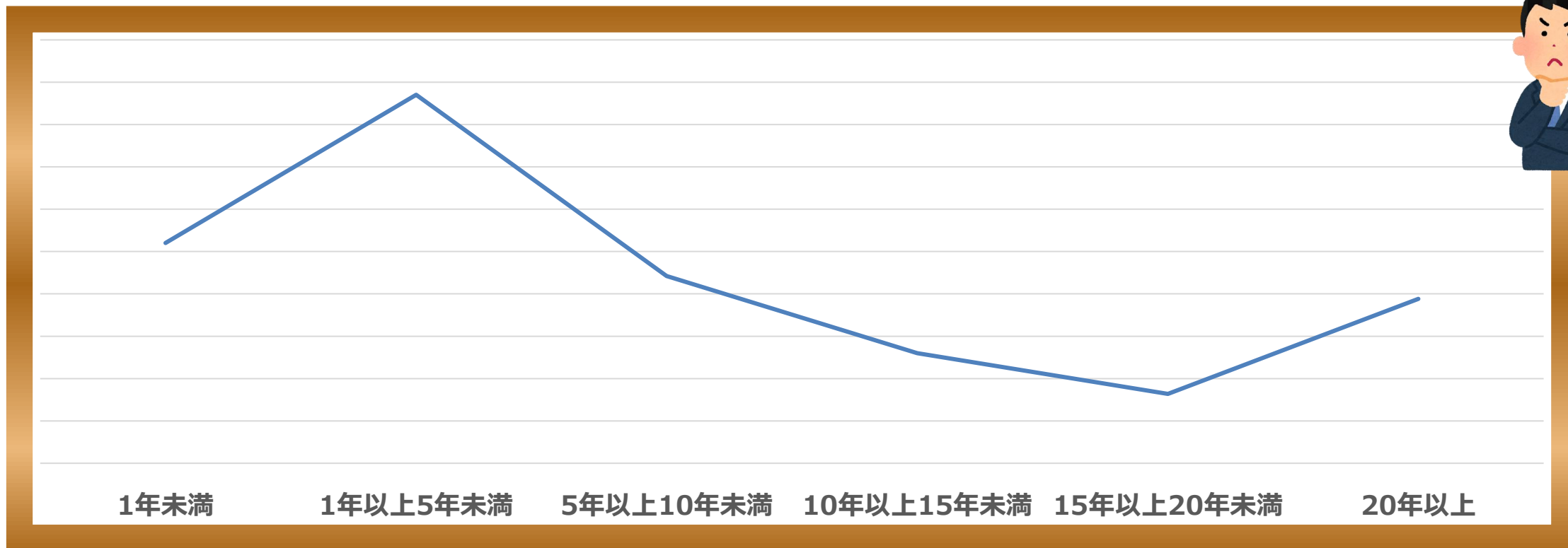
今資料は、過去に労働災害に被災された方々から実際に寄せられた声を労働局にて要約させていただいたものであり、大変貴重な内容となっております。是非ご一読いただき、同じ体験をされることが無いようご参考にして頂きたいと考えております。

また、改めて皆様方におかれましては、一人一人の作業前の体調確認、安全確認をよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします



## 被災者の経験年数別労働災害発生件数グラフ（令和4年）



令和4年の労働災害の発生件数を被災者の経験年数別にみたグラフです。  
1年未満、1年以上5年未満の件数が多く、そこから少なくなっていますが、20年以上になるとまた件数が増加しております。こちらをご参考に、次ページ以降の被災者の声をお読みください。

## 被災して困ったこと

- 収入が無くて困った。
- 怪我の痛み等が辛かった。
- 日常生活動作が出来なくなって困った。
- 家事、育児、介護等が出来ず困った。
- 車が運転出来ず、買い物や送り迎え等が出来なくなって困った。
- 出来ていた事が出来なくなったため、ストレスを感じた。
- 復帰後、職場に戻る事が出来るかどうか不安に思った。
- 家族や同僚、上司に負担をかけてしまい、申し訳ないと思った。



## 労働災害を防止するためのアドバイス

- 無理をしない。
- 集中して作業を行う。
- 落ち着いて作業をする。
- どんな作業でも安全確認を怠らず、自分は大丈夫だと思わずに作業を行う。
- 決められた作業手順を必ず守る。
- 保護具を正しく着用する。
- 危険予知活動を行い、日頃から災害の予防に努める。
- 精神、身体を休めるため、きちんと休みを取る。
- 協力して仕事にとりかかることが出来るよう、気配りする。
- 重量物を持つなど一人では危険な場合は、必ず二人以上で作業を行う。



## 被災者の声（事例2）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 動けなくなり、生活や会社からの信頼を失うかもしれないという不安を感じた。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 足場を踏み外して大ケガを負うこととなったため、自分では安全確認の徹底を、会社には手すり・足場板の固定等行ってほしい。

### 【伝えたいこと】

- ・ 現場でのケガが出た時はすぐに正しい手続きを行ってほしい。



## 被災者の声（事例7）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 作業を終えようと焦ってしまった結果、作業用具に足を引っかけて転倒してしまった。
- ・ 日常生活のちょっとした動作が出来ず、大変難儀した。
- ・ 手術の必要もあると聞いており、生活費を含め、経済的な不安がある。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 心理的に焦ってしまうと労災につながるため、焦らずに作業をする。

普段なら危ない場所だという認識をもって動けていたと思う。

### 【伝えたいこと】

- ・ 職場内の危険箇所気づいたらすぐ報告。  
報告を受けたらすぐに対応してもらおうようお願いしたい。



## 被災者の声（事例8）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 職場の同僚に仕事をやってもらっていたため、迷惑をかけて申し訳ないと思った。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ “ほんの一時”、“ちょっとだけだから…”と代わりになりそうな用途外のものを使って労災となってしまったため、高いところのものを取るなら脚立を使う等、用途にあったものを使うこと！



## 被災者の声（事例9）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 左肩を脱臼し肩が上がらないため、右手しか使えず困った。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ KY（危険予知）の大事さを改めて認識した。
- ・ 危険の感受性を養わないといけないと感じた。
- ・ 病気やケガにならないため、経験を共有した方が良い。
- ・ 危険箇所は表示や、何らかの対応をしっかり行う。

### 【伝えたいこと】

- ・ ブリーフィング時に実施しているKYを積極的に実施してほしい。
- ・ 自分の災害の経験をミーティング等で紹介してほしい。



## 被災者の声（事例11）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 被災したところが痛くて、ギブスをしているため、生活に不自由を感じている。
- ・ 働くことができず、生活に不安を感じている。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 自分の場合、安全靴を履いていたことで大事には至らなかったため、保護具の適切な使用が必要。
- ・ 毎朝の朝礼における安全確認はとても大切である。

### 【伝えたいこと】

- ・ 毎日の安全確認の積み重ねが安全な仕事につながると思う。



## 被災者の声（事例12）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 車の運転が出来ず、家族に送迎してもらおうなど、迷惑をかけてしまった。
- ・ 会社にも休んでしまい、迷惑をかけてしまった。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 日ごろから体力づくりを行い、筋力をつけ、骨を丈夫にするため、栄養を考えて食事をとることが大切だと思った。



## 被災者の声（事例15）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 小さい子供と外で遊ばず、お出かけも出来なかった。
- ・ X'masプレゼントを買ってあげることが出来なかった。
- ・ 動けなくなり、精神的に落ち込んだ。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ ちゃんと周りを見て、落ち着いて仕事をする。

### 【伝えたいこと】

- ・ 労災がおきるまでが本当に辛く、一人親からすると1か月の生活がしんどい。



## 被災者の声（事例17）

### 【被災して困ったこと】

- ・ お金のこと、仕事復帰のことが心配である。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 設備、工具は新しいものを使うべきである。自分は古い脚立が破損して被災してしまった。
- ・ 仕事は気負わずに行うべきである。

### 【伝えたいこと】

- ・ 工場に人員が少なく、仕事がきつくなっており、皆困っているが何もできず、もどかしく思う。



## 被災者の声（事例20）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 家事・運転も出来ず、家族や職場に迷惑をかけた。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 工作中歩きながら考え事などしていたため、転倒してしまった。
- ・ 工作中は集中する。

### 【伝えたいこと】

- ・ 病気やケガで3か月も動けないなど、初めての経験であり、他人事だと思っていた。
- ・ 災害を起こさないよう気を付けてほしいとともに、人が災害にあってしまったら優しくしたいと思う。



## 被災者の声（事例5）

### 【被災して困ったこと】

- ・ 家事や日常生活が不便になって困った。
- ・ 怪我のせいで以前のように手が動かさなくなるのが怖い。

### 【働く方へのアドバイス】

- ・ 作業中は安全を重視して作業を行う。
- ・ 動いている機械には手を出さず、保護具を着用する場合は保護具を着ける。

### 【伝えたいこと】

- ・ 外国人技能実習生として日本で働いているが、労災が起きると治療等に時間がかかるので、労災にならないようルールや対策を理解する必要があると感じた。

